



平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月6日

上場会社名 株式会社 ヨロズ

上場取引所 東証第一部

コード番号 7294

URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤和己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 佐草 彰

TEL (045) 543-6802

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	60,645	8.6	4,806	62.3	5,199	80.3	2,615	36.7
20年3月期第2四半期	55,821	△0.2	2,961	42.1	2,884	25.6	1,912	13.2

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	153	81	126	70
20年3月期第2四半期	128	75	103	42

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第2四半期	83,597		41,968		42.2		2,074 22	
20年3月期	85,843		43,621		42.9		2,166 22	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 35,272百万円 20年3月期 36,836百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7 00	—	9 00	16 00
21年3月期	—	8 00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8 00	16 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	120,100	1.1	6,220	△19.6	6,610	2.3	2,280	△57.7	134	08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
- (注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- |             |             |        |             |
|-------------|-------------|--------|-------------|
| 21年3月期第2四半期 | 21,455,636株 | 20年3月期 | 21,455,636株 |
|-------------|-------------|--------|-------------|
- ② 期末自己株式数
- |             |            |        |            |
|-------------|------------|--------|------------|
| 21年3月期第2四半期 | 4,450,621株 | 20年3月期 | 4,450,549株 |
|-------------|------------|--------|------------|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- |             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 21年3月期第2四半期 | 17,005,046株 | 20年3月期第2四半期 | 14,855,244株 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、今後の様々な要因により実績の業績が予想値と異なる可能性があります。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国におけるサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱や、原油・原材料価格の高騰による世界経済低迷の影響を強く受け、景気の後退感がより鮮明となってまいりました。

自動車業界におきましては、国内では新車販売は低水準で推移し、輸出に支えられた国内生産も後半には減少に転じております。海外におきましても、前半は現地生産・販売は増加基調で推移しましたが、欧米のみならず、アジア・中南米等の新興国でも需要減速の兆しが出始めております。

このような状況下におきまして、当社は国内外での積極的な営業活動に取り組みました結果、自動車部品の売上げは、前年同期に比べ6.3%増の58,314百万円となりました。また金型・設備等についてもアジアにおける新規立ち上がり部品の増加により、前年同期に比べ147.9%増の2,330百万円となりました。これらの結果、売上高全体では前年同期に比べ8.6%増の60,645百万円となりました。

一方、利益面では、売上高の増加及び地域別・車種別売上高構成の変化に加えグループを挙げての原価低減活動により、営業利益は前年同期に比べ62.3%増の4,806百万円、経常利益は前年同期に比べ80.3%増の5,199百万円、四半期純利益(累計)は連結子会社ヨロズオートモーティブミシシッピ(YAM)の工場設備に関わる減損損失618百万円を計上しましたものの前年同期に比べ36.7%増の2,615百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、104.90円/ドル(前第2四半期連結累計期間は、120.15円/ドル)であります。

所在地別セグメントの業績につきましては、

## (1) 日本

日本では、売上高は主に得意先の輸出向け生産の増加により前年同期に比べ2.1%増の23,661百万円となり、営業利益は、この売上増に加え原価低減活動の成果により前年同期に比べ49.6%増の1,424百万円となりました。

## (2) 北米

北米での売上高は、トラック系車種の大幅な減少により前年同期に比べ8.7%減の26,337百万円となりましたが、営業利益は、乗用車へのシフトに伴う車種構成の変化及び収益改善活動の成果により前年同期に比べ20.0%増の1,006百万円となりました。

こうした中、ヨロズオートモーティブテネシー(YAT)は、5月より北米では初となる米国トヨタへの納入を開始いたしました。

なお、米国ホンダよりYATは品質賞を、ヨロズオートモーティブノースアメリカ(YANA)は納入賞を受賞いたしました。また、メキシコ日産及びメキシコホンダよりヨロズメヒカーナ(YMEX)は品質賞を受賞いたしました。

## (3) アジア

アジアでの売上高は得意先及び車種の増加により前年同期に比べ29.1%増の12,848百万円となり、営業利益は売上高の増加が寄与し前年同期に比べ30.7%増の2,535百万円となりました。

中国では广州萬宝井汽車部件(YBM)が、昨年の武漢ホンダへの納入に加え、1月より広州ホンダへも納入を開始いたしました。また、中国では初となるテーラード溶接工法を採用したサスペンション部品を東風日産へ納入開始いたしました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ5,416百万円増加の42,904百万円となりました。

これは、主に「現金及び預金」が3,445百万円増加したこと、及び「受取手形及び売掛金」が1,199百万円増加したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ7,528百万円減少の40,693百万円となりました。これは、主として「有形固定資産」が減価償却などにより5,849百万円減少したことによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ2,246百万円減少の83,597百万円となりました。

## (負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて693百万円増加の28,353百万円となりました。これは、「未払法人税等」が798百万円増加したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ1,288百万円減少の13,275百万円となりました。これは、「その他」のうち繰延税金負債が533百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ594百万円減少の41,628百万円となりました。

## (純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,652百万円減少の41,968百万円となりました。これは、「利益剰余金」が2,016百万円増加したものの、「為替換算調整勘定」2,980百万円減少したことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、米国大手証券会社の破綻を機に一気に広がった深刻な金融不安による世界景気の急激な冷え込みは、自動車業界にも多大な影響を及ぼすものと予想されます。

このような状況下におきまして当社は、客先需要の大幅な変動に対応するため、YAMの操業を休止しYATへ生産移管することを決定いたしました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、非常に不透明な環境下ではありますが現在のところ、連結売上高は前期に比べ1.1%増の120,100百万円、営業利益は前期に比べ19.6%減の6,220百万円、経常利益は前期に比べ2.3%増の6,610百万円、当期純利益は前期に比べ57.7%減の2,280百万円を見込んでおります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、売上総利益、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ116百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 企業会計基準第18号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、113百万円を期首の剰余金から減算したことに伴い、利益剰余金が同額減少しております。また、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ6百万円増加しております。

④「リース取引に関する会計基準等」の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却費の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存簿価をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社の機械装置の耐用年数については、当第1四半期連結会計期間より、12年から9年に変更しております。この変更は、法人税法の改正を契機として、実態に即した耐用年数への見直しを行ったことによります。

この結果、売上総利益は150百万円、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は、それぞれ151百万円減少しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,473	7,027
受取手形及び売掛金	17,330	16,131
製品	4,611	5,201
原材料	733	491
部分品	1,512	2,023
仕掛品	3,306	2,213
その他	4,967	4,447
貸倒引当金	△32	△48
流動資産合計	42,904	37,487
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	20,411	22,133
その他	13,608	17,736
有形固定資産合計	34,019	39,869
無形固定資産		
その他	40	51
無形固定資産合計	40	51
投資その他の資産	6,632	8,300
固定資産合計	40,693	48,221
繰延資産	—	134
資産合計	83,597	85,843
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,997	16,837
短期借入金	2,374	4,316
未払法人税等	1,374	576
賞与引当金	926	747
役員賞与引当金	39	52
その他	5,640	5,129
流動負債合計	28,353	27,659
固定負債		
新株予約権付社債	4,999	4,999
長期借入金	4,254	4,920
退職給付引当金	911	874
役員退職慰労引当金	198	247
その他	2,912	3,521
固定負債合計	13,275	14,563
負債合計	41,628	42,222

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	5,435	5,435
利益剰余金	35,855	33,839
自己株式	△3,880	△3,880
株主資本合計	40,883	38,866

評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	330	929
為替換算調整勘定	△5,941	△2,960
評価・換算差額等合計	△5,610	△2,030
少数株主持分	6,696	6,784
純資産合計	41,968	43,621
負債純資産合計	83,597	85,843

## (2)【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年9月30日)

売上高	60,645
売上原価	51,328
売上総利益	9,316
販売費及び一般管理費	4,510
営業利益	4,806
営業外収益	
受取利息	96
受取配当金	93
為替差益	271
デリバティブ評価益	45
その他	68
営業外収益合計	576
営業外費用	
支払利息	176
その他	7
営業外費用合計	183
経常利益	5,199
特別利益	
固定資産売却益	81
受取補償金	127
その他	94
特別利益合計	303
特別損失	
固定資産売却損	2
減損損失	788
その他	17
特別損失合計	809
税金等調整前四半期純利益	4,693
法人税等	1,402
少数株主利益	675
四半期純利益	2,615

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年9月30日)

(単位:百万円)

	日 本	北米	アジア	計	消去又は全社	連 結
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に対する売上高	17,318	28,632	9,870	55,821	—	55,821
(2) セグメント間の内部売上高	5,864	211	82	6,158	(6,158)	—
計	23,182	28,844	9,952	61,979	(6,158)	55,821
営業費用	22,230	28,005	8,012	58,248	(5,388)	52,859
営業利益	951	839	1,939	3,730	(769)	2,961

(注) 1.国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2.日本以外の区分に属する主な国

(1)北米・・・アメリカ・メキシコ

(2)アジア・・・タイ・中国

3.「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」の(会計方針の変更)に記載のとおり、当第2四半期連結累計期間より、日本セグメントの有形固定資産の減価償却の方法を、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間における営業利益は「日本」が67百万円減少しております。

なお、平成19年3月31日以前に取得した資産に比べ、当第2四半期連結累計期間における営業利益は「日本」が112百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日 本	北米	アジア	計	消去又は全社	連 結
I 売上高及び営業損益						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,745	26,138	12,760	60,645	—	60,645
(2) セグメント間の内部売上高	1,915	199	87	2,202	(2,202)	—
計	23,661	26,337	12,848	62,847	(2,202)	60,645
営業費用	22,237	25,330	10,312	57,880	(2,042)	55,838
営業利益	1,424	1,006	2,535	4,966	(160)	4,806

(注) 1.国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2.日本以外の区分に属する主な国

(1)北米・・・アメリカ・メキシコ

(2)アジア・・・タイ・中国

3.当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が「日本」で116百万円減少しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

著しい変動がないため、記載を省略しております。

## 【参考】

## 前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高		55,821 100.0
II 売上原価		48,385 86.7
売上総利益		7,435 13.3
III 販売費及び一般管理費		4,474 8.0
営業利益		2,961 5.3
IV 営業外収益		
1 受取利息	51	
2 受取配当金	67	
3 不動産賃貸料	35	
4 為替差益	—	
5 消費税差額	—	
6 デリバティブ評価益	25	
7 その他	61	241 0.4
V 営業外費用		
1 支払利息	153	
2 社債発行費	—	
3 為替差損	142	
4 開業費償却	7	
5 その他	15	318 0.6
経常利益		2,884 5.2
VI 特別利益		
1 貸倒引当金戻入益	54	
2 固定資産売却益	34	
3 投資有価証券売却益	—	
4 子会社株式売却益	52	
5 その他	7	149 0.3
VII 特別損失		
1 固定資産売却損	—	
2 固定資産廃棄損	3	
3 減損損失	—	
4 投資有価証券評価損	12	
5 その他	0	16 0.0
税金等調整前中間 (当期)純利益		3,017 5.4
法人税、住民税 及び事業税	1,174	
法人税等調整額	△ 475	698 1.3
少数株主利益		405 0.7
中間(当期)純利益		1,912 3.4